

平成 20 年 11 月 5 日

各 位

会社名 スカイマーク株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 西久保 慎一
(コード番号 9204 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経理本部長 有森 正和
(TEL:03-5402-6767)

第三者割当により発行される株式の募集及び支配株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 11 月 5 日開催の当社取締役会において、下記のとおり第三者割当により発行される株式の募集を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

- ・ 第三者割当により発行される株式の募集
- 1. 第三者割当により発行される株式の募集の目的

当社は、1996 年に定期航空運送事業を事業の目的として設立されて以来、新規参入航空事業者として利用者利便の向上に資するために適正な価格・サービスの創出と維持を図り、航空業界の成長に寄与してまいりました。

当初、Boeing 社 767-300 型機（以下 B767 型機）で運航を始め、2005 年 3 月には同型機 6 機での運航体制となりましたが、航空機の技術革新による信頼性・経済性などの運航性能の向上、また将来性等を勘案し、2005 年 12 月より Boeing 社 B737-800 型機（以下 B737 型機）への転換を進めており、現在（平成 20 年 11 月 5 日時点）では B767 型機 = 2 機、B737 型機 = 8 機で定期運航を行っております。（合計 28 往復～29 往復 / 日）

2010 年の羽田空港の拡張による発着枠の増加も見据えて、機材数も今以上に増加させながら、2009 年度には、全ての機材を B737 型機で統一する計画をしております。そのためには、運航乗務員の養成・訓練が必須であります。現在それを全て他社のフライトシミュレーターを借用して実施している状況であります。世界的にも高性能・高効率での運航が可能な B737 型機の訓練需要は高く、今後、養成・訓練する場所の確保が厳しくなることが予想されます。よって、運航乗務員及び整備士の養成訓練の為、また、試験・審査の効率性向上を図る為、自社でフル・フライト・シミュレーター（「模擬飛行装置」としての訓練機材）を導入することとしました。当フル・フライト・シミュレーターは、2009 年 5 月に設置を予定しております。

また、航空機予備部品の購入による支出は毎年平均約 500 百万円に上りますが、この支出は当社の事業継続に欠かせないものであります。

今回の設備投資は、当社の、中長期にわたる健全かつ継続的な成長を実現する為に不可欠なものであり、その資金調達は当社にとって財務の安定性が高い資本増強により行いたいと考えております。今回の調達資金（手取概算額 1,145 百万円）については、約 800 百万円を B737 型機のフル・フライト・シミュレーター導入のための残金支払（総導入費用約 1,250 百万円のうち約 450 百万円は既に支払済み）に充当し、残額を B737 型機の航空機予備部品の購入に充当する予定であります。

2. 調達する資金の額及び使途

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

1,145,000,000 円（差引手取概算額）

(2) 調達する資金の具体的な使途

上記手取概算額 1,145 百万円のうち、約 800 百万円については B737 型機のフル・フライト・シミュレーター導入のための資金に充当し、残額を B737 型機の航空機予備部品の購入に充当する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

フル・フライト・シミュレーター導入のための残金支払（総導入費用約 1,250 百万円のうち約 450 百万円は既に支払済み）充当のため、平成 20 年 11 月に約 370 百万円、平成 21 年 2 月に約 250 百万円、同年 6 月に約 180 百万円の支出を予定しております。

航空機予備部品については、毎年平均約 500 百万円の支出となっており、今回調達予定資金のうちフル・フライト・シミュレーター導入資金の残金となる 345 百万円を全額充当予定であります。

なお、上記の支出予定時期までの期間については、リスクのない資金管理をいたします。

(4) 調達する資金使途の合理性に関する考え方

当社は、2010 年の羽田空港発着枠の増加等にあわせて、機材を増加させ、運航路線便数を拡充させていく予定であります。この事業機会に対応すべく、運航乗務員養成訓練のためのフル・フライト・シミュレーター導入は必須のものであります。今後当社の企業価値を向上させていく為には、当該第三者割当増資による資金調達は必要不可欠なものであり、当該資金使途は合理的であるとと考えております。

3. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近 3 年間の業績（連結）（単位：百万円）

事業年度の末日	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期
売上高	35,694	39,725	50,373
営業利益	1,870	5,176	3,224
経常利益	1,169	4,917	2,749
当期純利益	701	4,944	2,627

1株当たり当期純利益(円)	12.89	85.22	44.14
1株当たり配当金(円)			
1株当たり純資産(円)	198.42	116.11	159.34

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(平成20年9月30日現在)

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	59,885,700株	100.0%
潜在株式数	2,378,400株	3.97%

(注) 潜在株式数には、ストックオプションの潜在株式数2,378,400株を記載しております。

(3) 最近の株価の状況

最近3年間の状況

	平成18年3期	平成19年3期	平成20年3期
始 値	1,030円	613円	189円
高 値	1,063円	617円	463円
安 値	500円	176円	179円
終 値	610円	184円	229円

最近6か月間の状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
始 値	222円	214円	191円	182円	162円	121円
高 値	249円	214円	194円	185円	165円	122円
安 値	204円	181円	171円	160円	105円	87円
終 値	209円	191円	183円	163円	124円	108円

発行決議日における株価

	平成20年11月5日現在
始 値	115円
高 値	115円
安 値	112円
終 値	115円

(4) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資

発行期日	平成20年11月5日
調達資金の額	1,145,000,000円(差引手取概算額)
募集時における発行済株式数	59,885,700株
当該増資による発行株式数	10,000,000株

募集後における発行済株式総数	69,885,700 株
割 当 先	西久保 慎一

(5) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当てによる第6回新株予約権の発行

発 行 期 日	平成 18 年 9 月 25 日
調達資金の額	3,680,000,000 円
募集時点における発行済株式数	57,882,500 株
当該募集による潜在株式数	当初の転換価額（368 円）における潜在株式数：10,000,000 株 転換価額上限値（552 円）における潜在株式数：10,000,000 株 転換価額下限値（184 円）における潜在株式数：10,000,000 株
現時点における転換状況（行使状況）	行使済株式数：2,000,000 株 （10,000 個の新株予約権を発行。2,000 個は行使し、残る 8,000 個は買入消却。）
当初の資金使途	各種設備投資資金等を機動的に確保することを目的（航空機部品および空港施設等の設備投資資金に充当する予定）
割 当 先	三菱UFJ証券株式会社
支出予定時期	平成 18 年 10 月
現時点における充当状況	調達額（375,600,000 円）については全て航空機部品購入に充当

・第三者割当てによる第4回新株予約権の発行

発 行 期 日	平成 17 年 9 月 1 日
調達資金の額	2,997,960,000 円
募集時における発行済株式数	51,799,800 株
当該増資による発行株式数	当初の行使価額（602 円）における潜在株式数：4,980,000 株
現時点における転換状況（行使状況）	行使済株式数：996,000 株 （4,980 個の新株予約権を発行。996 個は行使し、残る 3,984 個は満期到来により償還。） 大和証券エスエムビーシー株式会社による行使
当初の資金使途	当社事業計画の展開における航空部品及び空港施設等の設備投資の資金調達のため
割 当 先	ゴールドマン・サックス証券会社 平成 17 年 12 月 10 日買戻 大和証券エスエムビーシー株式会社 平成 18 年 2 月 17 日行使

支出予定時期	平成18年4月
現時点における 充 当 状 況	調達額(670,855,800円)については全て航空機部品購入に充当

・第三者割当増資

発 行 期 日	平成17年9月1日
調達資金の額	2,999,946,600円(発行価額:602円)
募集時における 発行済株式数	51,799,800株
当該増資による 発行株式数	4,983,300株
割 当 先	西久保 慎一 4,734,200株 2,849,988,400円 株式会社やずや 166,100株 99,992,200円 オリックス株式会社 83,000株 49,966,000円
当初の資金使途	航空機部品及び空港施設等の設備投資に充当
支出予定時期	平成17年10月
現時点における 充 当 状 況	全て航空機部品及び予備エンジン購入に充当

4. 大株主及び持株比率

募集前(平成20年9月30日現在)		募集後	
西久保 慎一	44.87%	西久保 慎一	52.76%
株式会社エイチ・アイ・エス	17.33%	株式会社エイチ・アイ・エス	14.85%
オリックス株式会社	2.01%	オリックス株式会社	1.72%
吉田 望	0.84%	吉田 望	0.72%
ニッセイ同和損害保険株式会社	0.82%	ニッセイ同和損害保険株式会社	0.71%
不破 義夫	0.73%	不破 義夫	0.62%
野村證券株式会社	0.64%	野村證券株式会社	0.54%
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	0.42%	ゴールドマン・サックス・インターナショナル	0.36%
東京海上日動火災保険株式会社	0.40%	東京海上日動火災保険株式会社	0.34%
京セラ株式会社	0.39%	京セラ株式会社	0.33%

5. 業績への影響の見通し

今回の新株式発行は、設備投資による中・長期的な業務効率の向上を図ることを目的としており、平成 20 年 10 月 27 日に開示した平成 21 年 3 月期の業績予想に修正はありません。

6. 発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠

発行価額は、当社株式の株価の動きを勘案し、本日の東京証券取引所マザーズ市場における当社普通株式の普通取引の終値である 115 円といたしました。当社は平成 20 年 10 月 27 日に平成 21 年 3 月期の業績予想を公表しており、この影響を反映した上で当日の終値を発行価額として採用することが適当であると判断したためであります。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

今回の第三者割当増資の発行規模は当社発行済株式数（募集前）の 16.7%であり、株式の希薄化が生じますが、当社は 2010 年の羽田空港発着枠の増加等にあわせて機材を増加させ、運航路線便数を拡充させていく予定であります。この事業機会に対応すべく、運航乗務員養成訓練のためのフル・フライト・シミュレーター導入は必須のものであります。フル・フライト・シミュレーター導入費用及び B737 型機用航空機部品の拡充の費用を勘案すると、今回の調達額である 1,145 百万円は不可欠なものであると認識しております。当該増資による財務体質の強化及びそれに伴う今後の当社の企業価値向上を考え、株式の希薄化は既存株主にとりましても合理性があるものと判断いたしました。

7. 割当先の選定理由

(1) 割当先の概要

割当先の氏名	西久保 慎一
住所	東京都港区
当社との関係	当社代表取締役会長兼社長
持株数	26,873,200 株

(2) 割当先を選定した理由

2010 年の羽田空港発着枠増加は、当社にとって事業規模拡大のための重要な機会であり、これに対応するための運航乗務員養成にかかる効率性向上は当社にとりましても大きな課題であります。フル・フライト・シミュレーターの導入が効率的な運航乗務員養成には必須である為、今回導入を決断するに至った次第であります。

割当先である西久保慎一は当社の筆頭株主であり、かつ代表取締役会長兼社長であります。運航乗務員養成の効率性向上を通じた当社の中長期的な成長の必要性を認識しております。また、現状の金融環境を総合的に鑑みて、新株発行の割当先として最も適当であると判断し、選定いたしました。

(3) 割当先の保有方針

割当先からは、割当株式の保有方針については、原則として長期保有する旨の報告を受けております。なお、発行日から2年以内に譲渡する場合には、その旨を当社に報告する旨の確約を依頼する予定であります。

(別添) 発行要領

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 発行新株式数 | 普通株式 10,000,000 株 |
| (2) 発行価額 | 1 株につき 金 115 円 |
| (3) 発行価額の総額 | 1,115,000,000 円 |
| (4) 資本組入額 | 1 株につき 金 57.5 円 |
| (5) 資本組入額の総額 | 575,000,000 円 |
| (6) 募集又は割当方法 | 第三者割当 |
| (7) 申込期間 | 平成 20 年 11 月 21 日 (金曜日) |
| (8) 払込期日 | 平成 20 年 11 月 21 日 (金曜日) |
| (9) 新株券交付日 | 株券は不発行とします |
| (10) 割当先及び割当株式数 | 西久保 慎一 10,000,000 株 |
| (11) 前記各号については、 | 金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。 |

・ 支配株主の異動

(1) 異動の経緯

今回の第三者割当増資の募集に伴い異動が生じる見込みであります。

(2) 支配株主の概要

氏名：西久保愼一

住所：東京都港区

当社との関係：代表取締役会長兼社長

(3) 異動前後における議決権の数及び所有割合

	議決権の数 (所有株式数)	議決権の所有割合	大株主順位
異動前 (平成 20 年 11 月 5 日現在)	268,732 個 (26,873,200 株)	45.16%	第 1 位
異動後	368,732 個 (36,873,200 株)	53.05%	第 1 位

(注 1) 支配株主の近親者 (二親等内の親族) が所有している議決権はありません。

(注 2) 支配株主及び支配株主の近親者 (二親等内の親族) が、議決権の過半数を自己の計算において所有している会社等 (会社、指定法人、組合その他これらに準ずる企業体 (外国におけるこれらに相当するものを含む。)) 及び当該会社等の子会社はありません。

(4) 異動年月日

平成 20 年 11 月 21 日 (上記第三者割当における払込日)

(5) 今後の見通し

今回の異動による業績見通しへの影響はありません。

以 上